

平成27年(2015年)2月6日(金曜日)

# 自殺予防の研修深める

## 岩室氏を講師に 気仙地域対策推進連絡会議

大船渡で



県大船渡保健所主催の気仙地域うつ・自殺予防対策推進連絡会議は4日、大船渡市猪川

町の大船渡地区合同庁舎で開かれた。ヘルスプロモーション推進センター代表の岩室紳也

氏を講師に招き、自殺

予防の研修を深めた。気仙3市町の行政、医療、地域関係者ら約30人が出席。

同保健所の山崎淳次

長が「県内の自殺者数は、秋田県に次いで高い。大きな災害があった場合、その数年後に自殺者が増加する傾向にあるので、これから自殺対策を住民とともに進めていきたい。忌憚(きたん)のない

関係性の大切さを説く岩室代表は「大船渡地区合同庁舎

活発な発言を」とあいさつした。

引き続き行われた研修では、「はまっぺからいん かだつてけらいん」でつながる地域を指して「集団全体に蔓延するリスクへの戦略(ポピュレーションアプローチ)の大切さ」と題し、ヘルスプロモーション推進センター代表の岩室氏が講演した。

岩室氏は、陸前高田市の地域包括ケアアドバイザー。平成23年4

月以降、継続的に同市を訪れ、保健医療福祉面から復興支援に携わっている。

講演の中で岩室氏は、これからの健康づくりに必要なこととして▽二次予防(早期発

見早期指導)だけではなく一次予防の再認識▽ハイリスク戦略に加えてポピュレーション戦略(関係性の再構築、居場所・絆づくり)へ▽社会全体で取り組むための環境整備(運動・雰囲気づくり)――を列挙。

続いて、WHO(世界保健機関)が提示した「健康」の定義改正案の「健康とは、身体的、精神的、スピリチュアル、ならびに社会的により良い、調和のとれた状態であり続けること、単に疾病がないとか、虚弱ではないということではない」という一文を紹介。「スピリチュアルとは、霊的な」という意味ではなく、「感動」や「楽

しさ」という意味。スピリチュアルなことがあると、健康かつ元気でいられる」と述べた。

岩室氏は「情報が正確でも、教育を充実させても知識が増えるだけ。対話・関係性・きずなを通じた課題の実感、感動や経験の共有などがなければ生きる力、健康ははぐくめない。自殺予防は生きる支援だ」と語り、人との関係性がいかに大切かを訴えていた。

同日はこのあと、同保健所の担当者が26年度自殺対策事業の実施状況を報告。協議で期間はとした気仙地域自殺対策アクションプラン(改訂版)の原案について意見交換を行った。